

2020年度

(令和2年度)

**事業計画書**

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

学校法人 柳城学院

## 2020年度 事業計画

### 1. 名古屋柳城女子大学こども学部の開設

本年4月に名古屋柳城女子大学を開設し、入学定員70名のこども学部こども学科がスタートします。入学者35名の厳しい出発となりますが、「愛をもって仕えよ」という学院の建学の精神を継承しつつ、「人びとと共に生き、人びとに仕える」ことを大学の精神とし、保育者としての専門的知識、実践力、コミュニケーション力を生かし、地域社会のひとつとと共に生き、地域社会に貢献する質の高い保育者を育てる保育者養成大学を目指します。現在、愛知県下に4年制の保育系大学は16大学ありますが、この中で、本学が他の保育系の4年制大学や併設の名古屋柳城短期大学との違いを明確にし、本学がどのような大学を目指すのか、また、どのような保育者を養成するのか等、その独自性（特色）を確立することが重要になります。このことを念頭に置きながら、完成年度である2023年度に向けて、大学の教学マネジメントの充実、強化に努めていきます。

### 2. 理事会体制等の見直し

本学院の運営体制である理事会の在り方を見直し、教職員との連携をはかりながら、学院の課題の発見から解決まで協同して改革・改善に取り組む体制を構築していきます。また、私立学校法の改正により、役員の責任の明確化、監事の牽制機能の強化、評議員会における監査機能の強化、監事による教学面の監査や内部監査室との連携強化なども引き続き改革を進めます。各理事は、学生募集、財務・人事、教学・学生支援、大学連携、附属幼稚園の各分野を担当し、各理事と関係部局との連携で業務の遂行に努めます。

### 3. 大学および短期大学への入学者の確保

名古屋柳城女子大学および名古屋柳城短期大学の定員確保を実現していくために、教職員が一丸となって募集広報のために取り組んでいきます。四大と短大のすみ分けにも留意しながら、それぞれの特色を明確にし、高校訪問においては担当制を導入し、全教員が高校を決めて複数回の訪問をしてもらうとともに、模擬授業等の機会の増加も目指していきます。また、ホームページをさらに魅力的なものとするとともに、インスタグラムなどの活用も検討していきます。入試制度においては、特別奨学生制度のさらなるPRに努め、とくに短期大学においては、能力型AO入試や園長推薦入試などの新たな入試区分を導入します。学生募集のプロジェクトチームを立ち上げ、諸活動を推進していきま

す。

#### 4. 学生支援と教育 IR の強化

##### (1) 教育 IR の強化

3つのポリシーに基づく教育成果の可視化が求められる中、単科の保育者養成校である本学の特徴に合う学生をどのように受け入れ、教育を行い、学位を授与し、幼稚園教諭免許状並びに保育士資格を取得して社会に送り出すか、この一連のプロセスにおいて、柳城生の学生生活の満足度を如何に向上させるかということが本学の生き残りにつながることは言うまでもありません。2年間あるいは4年間の学生生活を如何にサポートしていくかを、これまでの短大における現状を再度検証して、問題点を把握して改善に結びつけていきます。

IR推進委員会が中心となり教学関係の課題の整理や分析に有効なデータの洗い出しを行うとともに、四大の学部・学科会議、短大の学科会議においても、各委員会との連携強化を図るための情報共有と改善推進の議論を重ねていきます。

##### (2) 学生支援

一人一人が充実した学生生活を送るためのサポート体制については、各委員会並びに教学部署を中心として連携体制を構築して進めていきます。

- ①中途退学者率低下の方策
- ②学生の学習レベルの低下に対応した学修支援
- ③実習履修サポートの充実
- ④学生相談室との連携体制の構築
- ⑤一人ひとりの希望を叶えるキャリア支援
- ⑥保育補助のアルバイト、保育体験プログラムの提供
- ⑦正課外活動で学生生活を充実させるための活動の提供とサポート
  - ・クラブ・サークル活動の充実
  - ・学生会・柳城祭実行委員会活動の充実
  - ・柳城タイムの充実
  - ・他大学との学生間連携活動の充実
  - 保育コンソーシアムあいち、名古屋学院大学、名古屋文理大学・名古屋文理大学短期大学部
  - ・留学制度の策定
  - 本学独自の制度の計画策定、名古屋学院大学の留学プログラムへの参加

#### 5. 柳城学院の新しい時代を構築する中長期計画の策定

本年4月から名古屋柳城女子大学を開学し、本学院は、大学、短大、3つの附属幼稚園を擁する学院として出発します。この新たな船出において、初心に帰

り学院の建学の精神「愛をもって仕えよ」の伝統に学ぶとともに、これからの時代を展望し、現代社会が要求する質の高い保育者養成校としてのブランドイメージを構築します。柳城学院の新しい歴史を開く中長期計画を策定し、大きな方向付けと次へのステップとして位置づけ、柳城学院の地域での役割を盤石にし、これからの将来に向かって充実した活動を推進します。

後援会、同窓会、教会関係、幼稚園、保育園、施設など柳城学院の関係する団体、企業など広く内外に呼びかける募金活動を進めていますが、より優れた保育者養成のための給付型奨学金として「マーガレット・ヤング基金」の充実を図ります。

## 6. 財務状況の改革・改善

収入の増加が厳しい中、経営を安定させるためには、経費の削減を進める必要があります。本学院は、本年4月から日本私立学校振興事業団との経営相談を行うことになっています。この経営相談は、経営改善計画の作成を支援する相談と、個別課題に対応した相談等があり、この個別課題に対応した相談には、「財務の分析・比較」「人事政策・人件費の見直し」「管理運営・組織の活性化」「教育条件の改善」「学生生徒等の確保」「収入の確保・経費節減」があります。

本学院もこの経営相談をベースに、経営相談のチームを立ち上げ、現在進めている「柳城学院経費削減計画」を滞りなく推し進め、本学院の財務状況を安定かつ、効率的に運営できる状況にもっていくことが第一の目標です。そのためには、事務部門のアウトソーシングの導入や各課の業務の見直しを行い、現有職員で運用できる組織体制の改革に努めます。

## 7. 教職員の専門性への取組

### (1) 教員のFD研修の取組

名古屋柳城女子大学の開学に伴い、FD研修をより活性化していく必要があります。授業公開を一層充実したものとし、教員同士がお互いから学ぶという姿勢を大切にしていきます。また、科研費等の外部資金獲得するための学びの機会も設定していきます。学生からの授業評価等に基づいたベストティーチャー（仮称）制度についても検討していきます。

名古屋柳城短大は、2021年に第三者評価を受けることになっているのでその準備を進めていくとともに、短大のカリキュラムの在り方についても検討していきます。

### (2) 職員の専門性への取組

業務の専門性と強化に努め、職員のセクショナリズムを改善するために人事異動を行い、職員の専門性を高めます。とくに将来的に定年退職を迎える職員や強化すべき部局等への異動や補充は、計画的に進めることとします。職員の

専門性と養成を高めるSD研修は、名古屋文理大学との連携でのSD研修プログラムを計画するなど、積極的に実施する予定です。

また教職員が協力して、教学マネジメントを活発に語り合うFD、SD研修を実施します。

以上